

ピアノ購入ガイド



STEINWAY & SONS



スタインウェイ&サンズ ピアノ購入ガイド

スタインウェイ&サンズのピアノは1台ずつすべて手作りで、完成には約1年を要します。現在、ピアノを製造している者の多くが親や祖父の時代から代々スタインウェイの職人で、私たちはスタインウェイファミリーの伝統を未来へとつなげていることを誇りに感じます。

スタインウェイよりも安価なピアノを見つけるのは容易ですが、スタインウェイほど世代を超えて受け継ぐことができる、資産価値の高いピアノは見つからないでしょう。170年以上にわたって、1台ずつ手作りされるスタインウェイのピアノはすべて、その価値を高めてまいりました。

スタインウェイ&サンズをお求めのお客様に

丁寧に作り上げられたピアノは、お客様のご自宅に美しさとエレガンスを添え、生涯にわたる音楽の喜びを与えてくれます。音楽を学び始めたばかりの方にとっても熟練した音楽家にとっても、同様に完璧な楽器です。しかし、ピアノを選択するプロセスは必ずしも簡単ではありません。お客様のご希望やお好みを明らかにし、お客様のニーズにぴったり合ったピアノを選択するために、このピアノ購入ガイドをぜひお役立てください。

お客様やそのご家族が成長とともにやがては手放すことになるピアノはたくさんあるでしょう。しかし、成長とともに欲しくなるピアノはただ1つ、スタインウェイ&サンズのピアノです。3世紀以上にわたり、ピアノという楽器は芸術家のみならず音楽愛好家の心も捉え、今はお客様の心をも捉えました。ご自宅に、そして心の中にピアノを迎えたいとお考えのお客様は、音楽の喜びと財産、芸術性、伝統を手になれようとしているのです。


スタインウェイのピアノをお求めになれば、そのすばらしさを実感いただき、思いもよらなかった大きな喜びを手になれることでしょう。170年以上にわたり、スタインウェイ&サンズのピアノは世界の95%以上の演奏家に選ばれてきました。私たちは「品質」というただ1つの言葉に全力を傾け、スタインウェイの名声と評判を構築してきたのです。私たちのピアノは、単なる楽器を超えた存在です。それは投資価値のあるこの上なく見事な作品であり、ご家族に受け継がれていく家宝であり、後の世代にも喜びをもたらします。私たちは、ピアノのメカニズムと響きについて、研究を重ねてまいりました。その一部をお客様と共有したいと思います。この情報があれば、きっとお客様に直接語りかけてくるピアノを見つけることができるだろうと考えています。



「スタインウェイはスタインウェイ。
比類するものは世界のどこにも存在しません」

Arthur Rubinstein

アルトゥール・ルービンシュタイン



音楽の魔力

座って、目を閉じ、鍵盤に触れ、そして耳を傾ける

まるで魔法のようですが、実際は魔法ではありません。ピアノは、1700年代初頭に発展を遂げ、この300年をかけて完成された、複雑かつ非常にメカニカルなプロセスを通じて音を出します。簡単に言うと、演奏者が指で鍵盤を叩くことによって鍵盤アクション（フェルト・ハンマーに接続する一連のレバー）が動きます。

ハンマーが1本あるいは複数の金属弦を叩き、振動させます。これらの振動はバスブリッジとトレブルブリッジを通じて弦から響板に伝えられます。すると、響板はこの振動を私たちの知るピアノの音に変換するとともに、音がよく聞こえるように増幅もします。

一般的なピアノは12,000以上の特殊なパーツから構成されており、そのすべてが滑らかかつ正確に機能しなければ、私たちが愛するあの音楽を生み出すことはできません。

「可能なかぎり最高のピアノをつくる」

Henry Engelhard Steinway

ヘンリー・エンゲルハート・スタインウェイ（1797 - 1871年）



STEINWAY & SONS

「スタインウェイは、私の想像の世界を広げてくれます」

Yuja Wang

ユジャ・ワン

ピアノのメカニズム

ケース

ピアノの外側はケースと呼ばれており、ピアノの目に見える姿の大部分はこれにあたります。高品質のケースは美しさと強さを加え、ピアノを支えます。ケースの最も重要な部分は側板（リム）であり、スタインウェイのような最上級のピアノの場合、多層の堅木メープルで造られています。グランドピアノの基底部やアップライトピアノの背面部の強固な柱が、さらにピアノを支えます。

スタインウェイのピアノは、ケースの強固さと美しさで知られています。側板をつくる工程は特許を取得しており、1878年にスタインウェイ&サンズが発明した重要な技術革新です。それ以来、この工程は現在でも、より優れた強度と響きを持つ側板をつくるのに使われています。支柱に関しては、スタインウェイでは優れた伸張強度を持つ木材として知られるスプルースを使用しています。

プレート

ピアノの内部では鋳鉄プレートが弦の張力を支えています。プレートは20トン以上にもなる弦の張力に耐えるため並外れて強靱でなければなりません。ケースの中で響板の上に設置される鋳鉄プレートは、多くの場合金色に塗装され、磨き上げられ、メーカーのロゴが刻まれています。

グランドピアノではプレート、響板、弦は水平に置かれていますが、アップライトピアノでは、これらは垂直に置かれています。

スタインウェイは自社の鋳造工場において、厳格な基準に基づき砂型鋳造法によりプレートを製造しています。



響板

響板はピアノの弦の振動を可聴音に転換します。最上級のピアノメーカーは、高品質のスプルースを用いて響板を造ります。スプルースは、他の木材よりも音をよりよく伝達し、増幅します。響板は曲線状の膨らみを持っており、これが最大限のサウンド・プロジェクションのために弦に適切な圧力を与えます。響板の下にはリブ（響棒）が張られ、これがクラウンを保持し、響板に沿って音を伝え、強靭さを与えています。スタインウェイの響板には、最高級の木目の細かい柾目のシトカスプルース材が使われています。

ブリッジ（駒）

ブリッジは響板の上部に接合されており、振動を弦から響板に伝えます。材質がよければそれだけ、よい音が鳴ります。スタインウェイ&サンズのブリッジは、横方向の木目を持つ堅木メープルを何層も垂直に重ね、無垢のメープル材をかぶせています。一定の曲線状にすることで、音の伝達に最適な状態を確

シトカスプルース材は音響上すばらしい質を持っており、瑕疵のないものを手作業で厳選しています。スプルース材の各部分をマッチングし、均一な色調と音質を持つ響板を造り上げます。スタインウェイのピアノの響板は2つのクラウンを持ち、振動膜の原理を用いた設計というスタインウェイだけの特徴を備えています。1936年に特許を取得したこの響板は、中央から縁にかけて厚みが徐々に減っていくという特徴を持ちます。この設計により、動きが自由になり、より豊かで長く持続する反響が作られます。

保しています。ブリッジの高さは個々のピアノにあわせて決められ、それぞれの弦に正確に対応するよう手作業で切り目を入れます。ブリッジはその後、リブとダボ接合することで、響板全体の構造的な統一性を確保します。



弦

現代のグランドピアノは230本から264本の弦を備えています。88音のそれぞれに1本から3本の弦が張られます。大半のピアノメーカーは、中高音域には3本、低音域には1本あるいは2本の弦を用います。低音域の弦は長さを確保しよりよい音質を得るために、通常、高音域の弦の上に交差して張られます。1859年12月20日、Henry Steinway Jr.は、低音域の長い弦が他の弦を覆うように張り渡されるこの交差弦の特許を取得しました（特許番号第26532番）。

高音域は高品質の鋼弦、低音域は銅を巻き付けた鋼弦です。弦はすべて均一間隔で配置されており、片方の端は、ピンブロックと呼ばれる層状の木製ブロックに挿入されているチューニングピンに巻きつけられています。

チューニングピンは摩擦抵抗によりその場所に保持され、弦を張り詰めた状態に保ちます。

ピンブロック

ピンブロックは、チューニングピンが差し込まれる層状の木製ブロックです。最上級のピアノのピンブロックは堅木メイプルで造られており、チューニングピンが圧力ばめ方式でピンブロックに挿入され、非常に大きな張力がかかるピアノの弦を支えています。ピンブロックの品質は、調律の保持に非常に重要です。

湿気や日光、気温、さらには演奏の仕方や頻度までも含めた多くの要因が、弦の物理的性質に影響を及ぼします。スタインウェイのピアノの弦は伸張性の高い最高品質の鋼製です。低音域は純銅を巻き付けた弦で、チューニングピンはさび防止のニッケルめっきを施したプレミアム鋼製です。

スタインウェイはまた、前方および後方のデュプレックス・スケールを採用しています。Hermann von Helmholtz（弦の振動を初めて研究した物理学者）と独自の関係を築いたことから、スタインウェイは弦の前と後ろの部分の共振を基音に共振させ、打弦した音の倍音の共鳴音を生み出す仕組みを開発し、1872年に特許を取得しました。これにより、従来は弦のデッドゾーンとなっていた部分が他の弦と共鳴し、より豊かな音が長く持続するようになりました。

1963年に特許を取得したスタインウェイのヘキサグリップのピンブロックは、7層の厚い柾目メイプルのブランクから成り、各層が互いに45度あるいは90度ずらして貼り合わせられており、木目が全角度から各チューニングピンを掴むようになっています。これにより、少なくとも1つの層の木目が各ピンに加わる圧力方向と真っすぐ一致することになります。その結果、正確な調弦が容易にでき、かつその状態を長期間保つことができます。



鍵盤とアクション

現代のピアノには88の鍵盤があります。52の白鍵と36の黒鍵（半音階の音）により、7と1/3オクターブの音を出すことができます。ピアノの鍵盤は通常、スプルースの表面にポリマー素材を貼って造ります。ポリマーを使った現在の鍵盤の表面は、耐久性が増し、時間が経過しても黄色に変色せず、以前の象牙製よりも交換が容易です。

ピアノの1つひとつの鍵盤は、フェルトに覆われた小さな木製のハンマーに動きを伝え、このハンマーが1本あるいは2、3本の弦を叩くことで音が鳴ります。ハンマーは均一に並んでおり、迅速に元の位置に戻ることができるので、どの音もすぐに繰り返し鳴らすことができます。

ダンパーはフェルトで覆われたアクションの一部であり、弦を押さえて振動を抑制します。ピアノの高音域は音の持続時間が短くダンパーは不要であるため、ダンパーの数は88よりは少なくなっ

ペダル

スタインウェイのグランドピアノには3つのペダルがあります。右端のペダルはダンパーペダル(サステイン・ペダル)と呼ばれ、音を持続させるために使われます。左端のペダルはウナコルダあるいは「ソフト」ペダルと呼ばれています。これを踏むと、鍵盤のアクションが横に少し移動し、ハンマーの弦の叩き方が変わってくるため、音が弱くなります。

ています。ダンパーペダル（サステイニング・ペダル）はすべてのダンパーを持ち上げ、鍵盤から指を離れた後も音が持続するようにします。

グランドピアノでは、重力がアクションを補助します。アップライトピアノでは、ばねがハンマーを元の位置に戻します。この違いのため、通常、グランドピアノはアップライトピアノよりも速く確実に音を反復することができます。スタインウェイ&サンズのピアノの鍵盤は、ババリアンスプルーで造られています。柎目メイプルで作られたアクションのパーツが取り付けられているスタインウェイの金属アクションフレームは、継ぎ目のない口ゼッタ型の真鍮製チューブと、メイブルのダボ、真鍮製ハンガーで構成され、これにより安定した整調が確保されます。

スタインウェイのグランドピアノとアップライトピアノは、完全な機能を持つウナコルダペダルとソステヌートペダル[※]、そしてダンパーペダルを備えており、これらは真鍮でつくられています。

※ ハンブルク製のアップライトを除く



「スタインウェイは、ピアニストが望むすべてを叶えてくれる
唯一のピアノです」

Vladimir Ashkenazy

ウラディーミル・アシュケナージ

ピアノを選ぶ



お客様にふさわしいピアノを選ぶ

ピアノはこれから何年もの間、後の世代に至るまで、ご自宅で音楽と思い出を紡ぎ出します。お客様は、ピアノの基本的な構造や機能について理解されたことでしょうか。これで、お客様のスペース、能力、夢にふさわしい楽器を選択するための、最終的判断を行う準備が整ったようです。

グランドピアノかアップライトピアノか

お客様がピアノを置くお部屋の広さは、重要な検討要件です。音質と音量は、ピアノの響板の大きさと弦の長さに直接関係します。したがって、ピアノは大きいほどより響きが増します。(低品質のグランドピアノと比較するならば高品質のアップライトピアノの方が優ります。)

アップライトピアノとグランドピアノの主な違いは、外形や大きさを除くと、響板の位置です。グランドピアノでは、響板と弦は水平に置かれていますが、アップライトピアノでは垂直に置かれています。このため、グランドピアノではアクションは重力とともに作動するため、アップライトよりも反応が良いのです。

スタインウェイのアップライトピアノは、高さ約132cm、幅約152.5cm、奥行き約68cmのスペースを必要とします。スペースが限られている場合はアップライトピアノがよい選択肢となりますが、部屋に対してピアノが小さすぎる場合は部屋を音で満たすことができません。スタインウェイの設計によるピアノには、スタインウェイ&サンズ、ボストンのブランドがあります。どのような空間にも対応し、お客様の求める演奏体験に合うよう、各ブランドがグランドピアノとアップライトピアノを取り揃えております。小さな空間に合うアップライトピアノをお考えのお客様にも、広い空間に合うグランドピアノをお探しのお客様にも、それぞれにぴったりのスタインウェイのピアノをご用意しています。



スタイルと仕上げ

多様な嗜好や装飾様式に対応するさまざまなスタイルのピアノをご用意することが可能です。伝統的なエボニーやマホガニーの仕上げ（艶出しあるいは艶消し）からエキゾチックな木目あるいは限定品のカスタムピアノまで、お客様がお選びになるピアノは優美さと芸術性を醸し出し、すばらしい存在感を発揮することでしょう。

響きと音色

大きさ、パーツの品質、全体の構造など、ピアノの響きを作り出す要因はいくつかあります。音質と音量は、響板の大きさと弦の長さに直接左右されます。響板が大きければ大きな音量を作り出し、弦が長ければ、特に低音域では非常にすばらしい音色となります。

加えて、どのピアノにも固有の「声」があり、これはピアノの古さや新しさ、ハンマーの状態、どのように調整やメンテナンスが行われてきたかにより決まってきます。気温と湿度はピアノの音

感度とタッチ

ピアノのタッチは個人的好みのもう一つの尺度です。軽いタッチを好むピアニストもいれば、より重いタッチを好むピアニストもいます。いろいろなピアノを試弾して、演奏したときのピアノの鍵盤のアクションをぜひ感じてみてください。鍵盤は弾力性があり、反応が良いでしょうか。あるい

スタインウェイのピアノは、外観にかかわらずいずれもピアノとして最高品質の楽器です。お客様のお好みのスタイルをお選びいただければ、スタインウェイ&サンズが170年以上も守り続けてきた厳格な基準を満たす、すばらしい演奏体験をもたらすピアノが確実にお客様のものとなります。

の響きに影響し、部屋の音響環境や調度品もまた、ピアノが生み出す音の響きに影響します。例えば、豪華なカーペットやカーテン、布張りの調度品などは音を吸収する傾向があり、ピアノの音を柔らかくします。木やタイルの床はきらびやかで生き生きとした共鳴を生む傾向があります。

は堅く反応が鈍いでしょうか。反応のよいピアノは非常に演奏し易く、音色に表情を付けることができます。多くの場合、専門の技術者はお客様のお好みに応じてアクションを調整することができます。



品質

同じように見えるピアノでも価格が大きく違うことがあります。一流メーカーは自社のクラフトマンシップの質に誇りを持ち、また、最高の素材が最良のピアノを生み出すことを知っているため、素材の調達に力を注いでいます。たとえば、購入に際しては合成板ではなく縦木目のスプルースで造られた響板を求めたいものです。

ピアノは外観も内部もともに、専門家以外の人が見ても魅力的でなければなりません。仕上げは傷やへこみなどがなく、均一でなければなりません。

響板と化粧板の木目は、美的観点からも音質の点からも木目がそろっていなければなりません。プレートは磨き上げられ美しく、どのパーツの動きも容易かつ正確に反復できなければなりません。大屋根、譜面台、鍵盤蓋はスムーズに動かなければなりません。つまり、ピアノはすばらしい調度品に見えるとともに、精密につくられた楽器でなければならないのです。

スタインウェイ&サンズの創業者であるHenry E. Steinwayは、可能な限り最高のピアノをつくることを自らのミッションとしました。スタインウェイ&サンズの職人たちは、このミッションを今日まで保持しています。

スタインウェイ&サンズは、スタインウェイファミリーのピアノ製造者固有の能力と勤勉さ、専門職人としての技術的伝統を維持するために全力を尽くしています。

完璧さを求めてたゆまぬ努力を重ね、どのピアノもまさに芸術品と言えるのは、スタインウェイ&サンズだけでしょう。




受け継がれる革新の精神

スタインウェイ&サンズは、ピアノ製造における設計と開発を切り拓き、世界最高峰のピアノを創り出してきました。スタインウェイは、妥協のない表現力を備えた比類なき楽器であり、世界中のコンサートピアニストの95%に選ばれ、今や世界各地の家庭にも広く受け入れられています。

1853年の創業以来、スタインウェイ&サンズは135件を超える特許を取得しており、過去10年間だけでも10件の新たな特許を取得しています。しかし私たちは、過去の功績に甘んじることはありません。スタインウェイに息づく革新と継続的な改良への情熱は、今なお進化を続けています。外観、タッチ、音色、構造の安定性——スタインウェイをスタインウェイたらしめるすべての要素に、私たちは今も磨きをかけています。

伝統的なクラフトマンシップと、最先端技術への継続的な開発・投資を融合させることにより、私たちは、これまでの歴史の中で最も豊かな音色の幅と、最も繊細かつ反応の良いタッチを持つスタインウェイを生み出すことに成功しました。



スタインウェイの現在

受け継がれた技で、さらに高みへ

革新の伝統があるからこそ、現代のスタインウェイは、創業者Henry E. Steinwayが掲げた「最高のピアノをつくる」という信念において、これまで想像し得た限界をも超えていく存在となっています。

スタインウェイが近年取り組んできた、素材・製造工程・技術面での革新の一部をご紹介します：

- 2024年以降に製造されたすべてのスタインウェイピアノでは、下地部分（ベッディング）に重量を持たることで、鍵盤枠（キーフレーム）の構造がより堅牢になりました。鍵盤台（キーベッド）もそれに合わせて改良され、アクション機構の調整安定性が向上しています。
- 1872年にセオドア・スタインウェイが発明したデュプレックス・スケールは、2024年以降のモデルにおいて大幅に改良され、弦間の間隔を音域に応じて最適に調整できるようになりました。CNC（コンピュータ数値制御）技術の導入により、従来では実現し得なかった高精度と一貫性が可能になっています。
- 新しいリム加工センターでは、響板とリムの密着精度がかつてないレベルにまで向上。これにより、音の共鳴・音色・純度が飛躍的に向上しました。
- プログラマブル・ロジック制御（PLC）による調湿室を15部屋以上設置し、各部品の寸法精度をさらに高めるとともに、ピアノが置かれる環境の温湿度変化にも強くなりました。
- スタインウェイ自社の鋳造所で製造される鋳鉄フレームを改良。鐘のような共鳴特性を持つこのフレームは、新たに「ノーベーク製法」により鋳造されています。強度の高い使い切りの鋳型を用いることで、従来以上に高精度かつ均一な仕上がりを実現しています。
- オーストラリアおよびアフリカ産の高級メリノウールを使用したハンマーフェルト。過去10年間で、原毛の品質、カーディング（梳毛）および圧縮工程を大きく改良し、安定性と均質性に優れたフェルトを実現しました。これにより、ピアノの「歌うような音色」が一層引き立ちます。
- スタインウェイを象徴する手作業によるリム（外枠）の曲げ加工において、加圧と調湿のプロセスを改良。現代のスタインウェイのリムは、従来よりも高い安定性、耐久性、強度を備え、より豊かな「スタインウェイ・サウンド」を支えています。
- 独自に開発した仕上げ技術と、最高品質のイタリア製家具研磨設備を導入し、新たな塗装仕上げ「STEINWAY DIAMONDGLOSS™」を完成させました。



ディーラーの選択

もしもお持ちの宝石に関する情報がない場合、熟知したジュエラーを探すのがよいでしょう。ピアノについても同じことが言えます。すなわち、評判の良いディーラーに頼るのが常に最善であるということです。

スタインウェイ&サンズでは、ピアノと同じ様にディーラーの選択にも配慮と注意を注いでいます。スタインウェイ&サンズはディーラーに対して、包括的な研修プログラムを提供しており、これによりディーラーの販売担当者と経営スタッフは、販売、カスタマー・サービス、コンサートおよ

び芸術家の活動、教育機関への販売、技術サービスを始めとするすべての面で教育を受けることとなります。

さらに、スタインウェイプロミスがあります。お客様がお選びになるポストンのピアノを将来新たなスタインウェイのグランドピアノにお買い替えの際、ディーラー/パートナーでのご購入価格を最大として下取りをするという保証です。



私は昔からスタインウェイピアノを称賛してきました — 音色、透明感、ピッチの安定性、
タッチの反応のよさ、そして職人による熟練の技など、全てにクオリティがあるからです」

Billy Joel

ビリー・ジョエル



現在と将来のために

アフターサービス

ピアノ所有には継続的なメンテナンスサービスが重要となります。お客様のピアノの音を維持するには、3つの基本的メンテナンスが必要です。ピッチの狂いを戻すチューニング（調律）と、ピアノの音色に影響するポイシング（整音）と、ピアノのタッチに影響するアクションのメカニズムを調整するレギュレーション（整調）です。

チューニング（調律）

ショールームに展示されるピアノは、工場から出荷される前に世界標準に基づいて何度もチューニングが行われます。どれほど十分にピアノをチューニングしても、残念ながら大気の変動によってピッチはずれていきます。理想を言えば、ピアノは直射日光を避け、冷暖房ダクトから離し、相対湿度を40%から60%に保った環境に置かなければなりません。

チューニングとポイシングは、ピアノが最高のパフォーマンスを発揮できるようにするための調整です。チューニングは、正しいピッチにピアノの弦を調整する作業で、ポイシングは、ハンマーを柔らかくあるいは堅くし、鍵盤のメカニズムのさまざまなパーツを調整することでピアノの音色と響きを調整します。ハンマーのフェルトは弦を叩くことで次第に圧縮されていくため、元々のポイシングにかかわらず、どのピアノも時間の経過とともに幾分かびやかな音色になっていきます。

標準的な状態で使用する場合、ピアノは2年に1回程度の定期的なチューニングが必要となるでしょう。コンサート用ピアノの場合は演奏会の前に毎回チューニングを行い、プロが録音に使うスタジオのピアノは1週間に数回チューニングが行われています。チューニングは専門家が行う技術であり、最善の成果を得るには訓練された技術者以外にピアノをチューニングさせてはなりません。もし、お住まいの地域で一流のピアノ技術者をお探しであれば、スタインウェイの正規ディーラー、または直営店にご連絡ください。



ボイスング（整音）

「きらびやかな」音を好むピアニストもいれば、より柔らかい音を好むピアニストもいます。元々のボイスングにかかわらず、どのピアノも時間の経過とともによりきらびやかな音色になっていきます。標準的な状態では、ピアノは2、3年ごとにボイスングを行うべきです。ボイスングの過程

では、ハンマーのフェルトの弾力性が特殊なツールで調整され、その後、どのキーもすべての音が均一になるように調整されます。これは特殊なスキルを必要とする作業であり、熟練したピアノ技術者が行うべき作業です。

レギュレーション（整調）

2、3年経過するうちに、お客様のピアノのアクションは工場での均一な状態から少し変化してくるため、訓練を受けた技術者によるレギュレーションが必要となります。ピアノの使われ方により、レギュレーションの必要性は変わってきます。例えば、コンサートグランドのアクションは演奏会

の前に毎回レギュレーションを行います。スタインウェイ&サンズでは、ピアノ技術者に継続的な教育を熱心に行っており、経験豊かなピアノ技術者に包括的な訓練を提供しています。

仕上げ／お手入れ

お客様のピアノはご自宅で美術品のように存在感を放つでしょう。清潔な専用のクロスを真水で少し湿らせて、埃と指紋の跡をふき取ります。ピアノにワックスをかけると、汚れが集積し、やがてはプロでなければ取り除けない状態になってしまうので、お勧めできません。ピアノの鍵盤は、

黒鍵と白鍵のどちらも少し湿った布で拭きます。鍵盤の側面は湿らせないようにしましょう。プロによる内部のクリーニングは、スタインウェイ&サンズのサービス部門またはスタインウェイの正規ディーラーを通じてご依頼ください。

移動

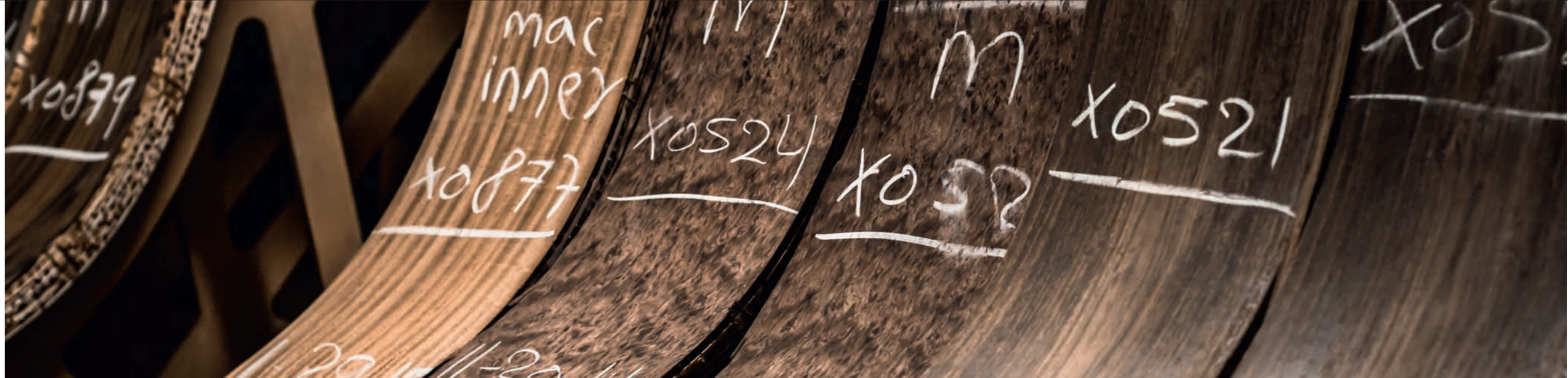
お客様のピアノをご自宅の別の場所、または別の住居に移す場合は、移動時にピアノの安全を確保するため、専門のピアノ運送業者にご依頼ください。移動後は経験豊かな技術者にピアノのチェックとチューニングを毎回忘れずにご依頼ください。



「スタインウェイも、彼らの美しいピアノも、どちらも永遠です」

Van Cliburn

ヴァン・クライバーン



スタインウェイ設計によるピアノのご紹介

スタインウェイは、コンサートピアニスト、作曲家、音楽教育者あるいは音楽愛好家、すべての皆様のお好みにそれぞれお応えします。

スタインウェイピアノ

エボニーのグランドピアノとアップライトピアノは、最も人気のあるピアノです。

スタインウェイのアートケースピアノは、著名な芸術家とのコラボレーションによりデザインされたものです。

限定版コレクションは、ピアノの歴史上の人物や出来事を記念するものです。

クラウンジュエルコレクションは、クラシカルな調度品スタイルの、エキゾチックな化粧板と仕上

げを採用したピアノです。東インド産ローズウッド、マカッサルエボニー、サントス産ローズウッド、マホガニー、ウォールナット、カワジンガブビンガ、アフリカ産ポメレなどが使われています。クラウンジュエルコレクションで使用されるこれらの材種は、スタインウェイ&サンズが「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」の環境保護ガイドラインを遵守して選出したものです。

ボストンピアノ

ボストンシリーズは大きさから仕上げまで幅広いバリエーションを持ち、同価格帯において並ぶものがない高級感と無比の価値を備えています。スタインウェイの「モデルA」のようなワイドテ

イル設計により、同じ長さの他のピアノよりも響板がかなり大きくなっており、その独特な力強い音の響きにより20年以上にわたり演奏者と聴衆を感動させてきました。

SPIRIO

スタインウェイSPIRIOは、世界最高峰のハイレゾリューション自動演奏ピアノです。

クラフトマンシップを反映したスタインウェイのグランドピアノと同様の作りでありつつ、芸術性と技術の粋を極めたこの傑作は、ご自宅で偉大なピアニストの演奏を楽しむことを可能にします。

その演奏は、繊細さ、迫力、情熱のすべてにおいて極限まで再現されており、生演奏と見分けがつかないほどです。

スタインウェイの自動演奏ピアノには、演奏と視聴を楽しめるSPIRIOのほか、ピアノそのものに演奏を収録・編集が可能なSPIRIO | r がございます。



「2つの特性を有するピアノ。その2つが化学反応を起こすのです。

“個性”と、それ以上に大切な“魂”を持ったピアノを提供して下さり感謝しています」

Hélène Grimaud

エレヌ・グリモー

違いを目で見て、耳で聴き、心で感じてください

ピアノ選びは一生に一度の経験であり、熟考に値します。ご自身で選択肢を探し、ご予算の中で最良のピアノをお選びいただく際、一流のメーカーこそが最高品質の製品をつくり出すことができるのだということを、どうぞいつも心に刻んでおいてください。

1853年以来、スタインウェイのピアノは、響き、タッチ、美しさの点で基準となってきました。それこそが、世界中のピアニストや作曲家、演奏家の圧倒的多数がスタインウェイのピアノを選択し続ける理由です。スタインウェイが設計したボストンピアノを含めて、アスペン、タングルウッ

ド、ブレバード、ボードインを始めとする主要音楽祭でスタインウェイのピアノが独占的に選択されており、世界中の演奏家、音楽学校、ピアノ指導者の熱心な称賛が寄せられています。ご自分の求める響きがどのようなものかはっきりしない場合でも、プロとしてピアノを演奏するほとんどの芸術家がスタインウェイファミリーからピアノを選択するという事実をお考えになれば、安心してスタインウェイのピアノをお選びいただけることと思います。

スタインウェイは、音を奏でる前からそのすばらしさを保証します



STEINWAY & SONS

「私たちは、世界で最も厳しい批評家、
すなわち音楽を愛する者の期待に応えるピアノをつくります」



スタインウェイ・ジャパン株式会社

東京都品川区東品川2-6-4 G1ビル3F

WWW.STEINWAY.CO.JP

-直営店-

スタインウェイ&サンズ東京
東京都港区北青山3-4-3 ののあおやま1F
03-6721-1618
sst@steinway.co.jp

スタインウェイ&サンズ大阪
大阪府大阪市中央区道修町3-5-11
大阪ガス御堂筋東ビル1F
06-6575-7005
sso@steinway.co.jp